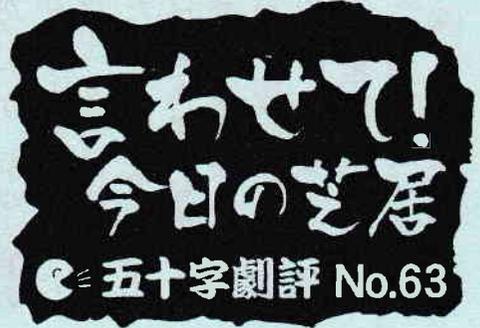


JACROW



宵闇、 街に登る

〔六〇代〕

▼金で人を操る金権政治の原点がここにあった!総裁選を超一流のサスペンスに仕立てた脚本は見事。ラスト、秘書をねぎらう角栄の言葉にほろりとさせられた。

(男性)

▼角栄がお金を積み上げる金権政治の象徴的場面で、笑えるところなのでしようが、時期のせいかしら?卵をぶつけたくなりしました。

(女性)

▼記憶にあるリアルな政治家を芝居化。不安と興味が混在。現在とあまりにも似かよった状況。国民の眼で凝視。

(女性)

▼うそをつき、約束を反故にする。金をばらまく。痛快だった。田中角栄がそうだったように、現在の自民党政権にも天誅が下ることを願いたい。

(男性)

▼以前、この作品の東京公演をネット配信で観る機会があったが、その時に比べると、やはり今回の生の舞台の方が面白かった。前回観た時には、政争劇をそのまま描いて「くだらない!」という感想だった。しかし、

今回生の舞台で観ると、田中角栄という人物や周りの政治家との関係など良く描かれていて、脚本が相当練られた内容だと感じた。

また、主人公をはじめ登場人物の演技にも破綻がなかった。それにしても、何というタイミングの良さだろう。今政治の世界は裏金のことが問題になっており、「政治が金にまみれている」という事が今も昔も変わらない。間違いなく歴史は繰り返されていく。ただ、残念に思うのは、作者のメツセージが伝わってこないという事。

政治家の権力闘争や政争をできるだけ忠実に描き、あとの判断は観客にまかせるといふ姿勢では物足りないと思う。「私はこう考えるが、ご覧になるみなさんはどう思いますか?」というメツセージがもつと

明確であれば、観客もより深く考えながら観ることができのではないか。(男性)

〔七〇代〕

▼予想外に笑いの劇で、田中角栄が良い人に見えるようになった。紙袋で違う違う、今の裏金政治を造った人です。

(女性)

▼現在も昔も続く、金権政治!お金で動く政治はうんざりです。私の税金を返せと大声で言いたい。税金は国民に使え!

(女性)

▼裏金に改めて腹が立って来た。上の席だったが声もよく届き、字幕もあって納得。たまには真ん中の座席でも見たいと思うのですが、無理ですか。

(女性)

▼風刺でもなく直言でもなく、何かを訴えかけてくるわけでもなく、表現手段として演劇である必要があつ

たのか。(女性)

▼お芝居としておもしろかった。本妻かんけいなく彼に尽くす女性達を見ると魅力的な人だったのだろうと思う。(女性)

▼昭和二〇年代生まれの私にとって、主人公は「金権政治の権化」。そして折も折、一月初めに「目白御殿全焼」。例会時の永田町は「裏金事件」で大揺れ。実にタイムリーな芝居だった。芝居は、派閥と金で動く政治の状況はわかったが、登場人物の心情がよくわからなかった。そんな中、多くは語られなかつたが、「越山会の女王」と呼ばれた角栄の秘書昭と、竹下登、中曽根康弘に興味を湧いた。昭については、「濃い赤の口紅」を買ってもらった二人の娘敦子の著書に詳しい(佐藤あつ子『昭田中角栄と生きた女』。某

ミュージシャンの祖父竹下は随分な言われよう。中曽根は劇中終盤で角栄に、総裁選票と引き換えに、「俺が政権を取ったら、科学技術長官は君に任せよう」と思っている。原発を推進できるのは君しかない。」と言われる。そっか、それで今に至るわけか。観劇後、角栄をリアルタイムに見てきた我々世代と、過去・歴史の人と捉えている若い世代では、相当評価が違うんだろうなと思つた。これほどみんなの感想が楽しみな例会も珍しい。(男性)

▼道内初公演とか。当時の労働運動を思いながら、今は苦笑して楽しみました。思い返し之机会を有難う！▼角栄より佐藤栄作は本当に悪いヤツ。沖繩の今の現状も佐藤・ニクソン共同声明から。何でノーベル平和

賞をもらえたのか。自民党の宣伝みたいな芝居だ。

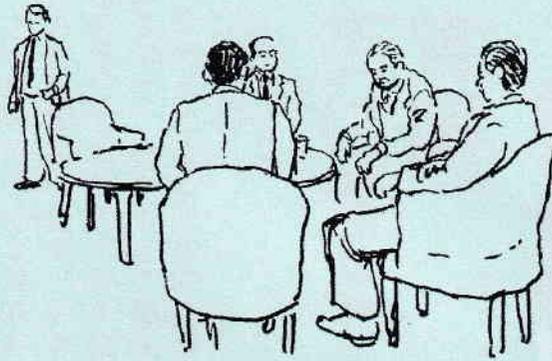
▼少し気になったのは、舞台が一度も変わららず、音楽と話でテレビの中、料亭での密談などを表現していたのでしようか？チヨット無理な気がしました。俳優さんの声に少々ビツクリでしたが、政治家の役なのでセリフは大きめに言うようにしているそうです。納得する。五二年前も今も政治家とお金は不透明のままです。ね？私たち国民が甘いのでしょうか？(女性)

▼サークルの人達の感想「あれは演劇なの!!」「演劇って色々面白いネ」二年前に入会したのです。もつと良い舞台を共に観て、語り合えたらとしみじみ思う二月例会でした。(女性)

▼紙袋の中の札束がずつしりと。一体幾ら？ふとピン



札で持ってみたい思いがよぎるが、どう使おうか迷う庶民。バカだね。
▼権力と金が目あてのボス交替劇。こんな権力者達が私達の生活を仕切っているの?!映画「猿の惑星」の猿を想い出す。(女性)



【八〇代】

▼歴史の中で知っている事もあり、そうだったのと思うこともあり。おもしろく観ました。ゆるせないことが多すぎる昨今。(女性)

【年代不明】

▼すごくおもしろかったです。次回作を観たくなりました。田中角栄さんは、私が生まれる前から活躍されてる方で、どんな存在だったのか、とてもよくわかりました。人をひきつける魅力のある人だなと思いました。昭さんの生き方が魅力的だなと思いました。女としてこの生き方が幸せなんだろうかと迷うことがあっても、自分に求められる役目をはたすことに最善を尽くし、彼女の働きがどれほど角栄さんの議員としての活躍を影でささえていたのかということが、劇中でわかりやすくながれていて。最後、角栄さんが総理になって昭さんに言葉がけするシーンで涙ができました。角栄さんにとって彼女の存在が、女性としてではなく、

自分の議員としての道に役立つからだだったとしても、昭さんは角栄さんのため、田中軍団の為に自分の役目をはたしつづけた人生を、ほこりに思っ生きていてほしいと思いました。私も大切なこと、大切な人の為に尽くす人生で在りたいと思えました。ありがとうございました。

編集スタッフから

魚は頭から腐敗する、こんなにはつきりと分かる日本の政治家達に言いたい、この国をどうするのですか？自分だけ・金だけ・今だけの恥を知らない面々。国民の税金で高級店で飲食してどんな会合をしているのですか？毎日の食事さえ食べることが出来ない国民がいる事を恥じと思わないのですか？いいかげんにしてほしい！